

# 第1章 市川三郷町の 現状と課題



# 第1章 市川三郷町の現状と課題

## 1 市川三郷町の現状

### (1) 市川三郷町の位置

本町は、甲府市の南約15kmに位置し、笛吹川、富士川と後背の御坂山地など、豊かな自然環境に恵まれた田園都市です。紙のまち、書のまち、花火のまち、印章のまち、農業のまちなどとして知られ、今後、中部横断自動車道（仮称）六郷 IC の整備により、地域の発展が期待されています。

本町は、平成17年10月1日に旧三珠町、旧市川大門町、旧六郷町の合併により誕生した町で、東京都心から約120km圏、県都甲府市へは約15kmの距離にあり、東部は甲府市、北部は中央市と南アルプス市、西部は富士川町（旧増穂町、旧鯉沢町）、南部は身延町にそれぞれ接しています。

地勢的には、甲府盆地の南西に位置し、標高1,000m～1,300mの御坂山系の山々を後背として南東側の山地から笛吹川や富士川の低地部に向けて下る北西傾斜の地形となっています。

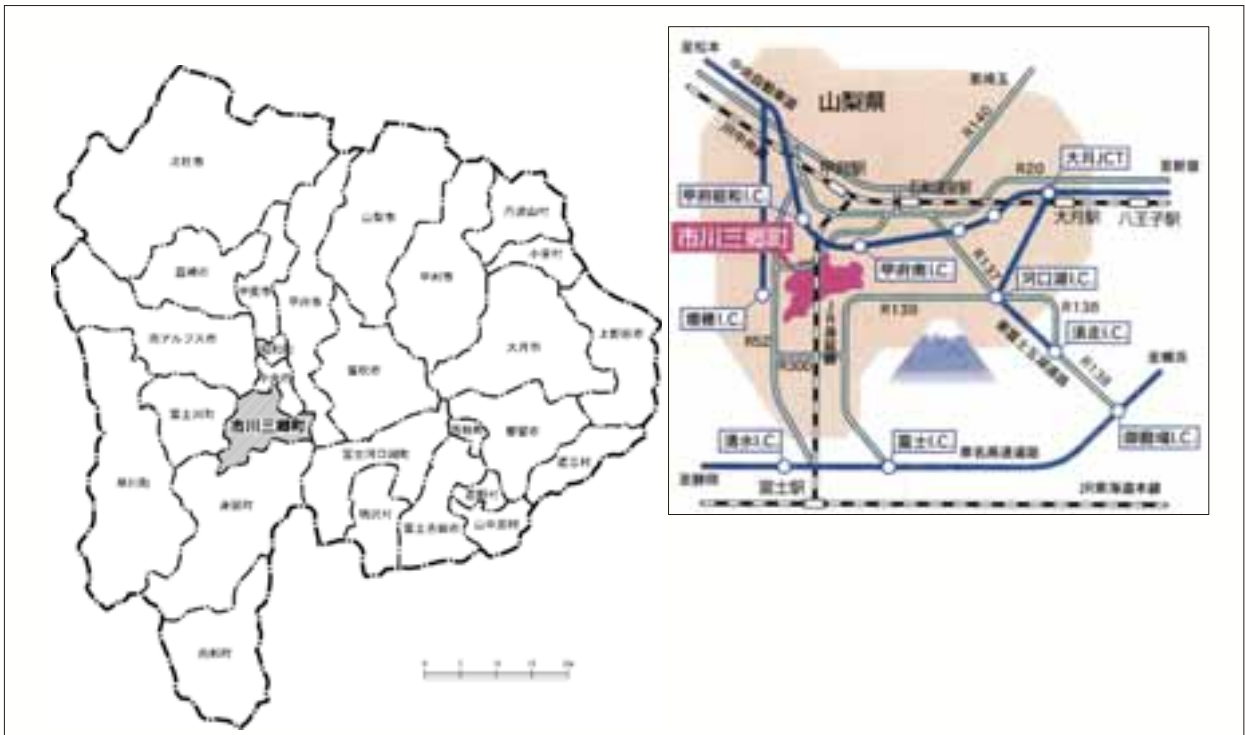
交通アクセス条件としては、JR身延線が町を南北に縦断しており、それにほぼ並行して主要地方道甲府市川三郷線、市川三郷富士川線、市川三郷身延線が走っています。

また、町の北部、笛吹川沿いに国道140号が走っており、富士川を渡ったところで静岡県を結ぶ国道52号に接続しています。

高規格道路は、最近供用された中部横断自動車道増穂 IC や中央自動車道甲府南 IC が近接しており、今後、中部横断自動車道の延伸整備と（仮称）六郷 IC の設置により、高速交通へのアクセス条件は大きく向上することが期待されています。

また、本町は、紙のまち、書のまち、花火のまち、印章のまち、農業のまち等として知られています。町のほぼ中央には、観光客やハイカーの拠点、あるいは町民の憩いの場となっている県立四尾連湖自然公園があり、町内の高台からは、北に八ヶ岳、西に南アルプスの峰々や甲府盆地を眺望するなど、豊かな自然・景観に恵まれています。

#### ■市川三郷町の広域的な位置



## (2) 市川三郷町の特徴

市川三郷町の大きな特色としては、次のようなものが挙げられます。

### ① 伝統産業が息づくまち、新たな産業を創造するまち

花火、和紙、印章といった本町の伝統産業の歴史は古く、全国的に知られており、本町の重要な地域資源となっています。また、基幹産業である農業も新たな取り組みに向けた展開をみせています。

#### ■花火（市川地域）

市川の花火は武田氏の軍事用の狼煙（のろし）打ち上げから始まったと言われており、市川の花火（「神明の花火」）は、常陸の水戸、三河の吉田（豊橋市）とともに、江戸時代には日本三大花火に数えられていました。

#### ■和紙（市川地域）

市川の和紙の起源は、甲斐源氏の時代に遡り、千年以上も続く和紙の伝統技術は、今も地場産業に生き続け、町内の業者は多種多様な紙を製造し全国へ送り出しています。中でも障子紙は全国シェアの40%（日本一）を占め、本町の地場産業の中心となっています。

#### ■印章（六郷地域）

山梨県の印章業は、地元で水晶が産出されるようになった文久年間（1861年～1863年）に水晶印の篆刻から始まったといわれ、六郷地域（旧六郷町）は、「はんこの郷」として印章の生産量が名実ともに日本一を誇る産地となっています。

#### ■体験型の観光農業、グリーンツーリズムの先進地（三珠地域）

かつては桑畑が広がる農村地域から、本町の基幹産業は野菜・果樹を中心とした農業へと新たな展開をみせています。特に三珠地域における、「甘々娘」に代表されるとうもろこし、「大塚ニンジン」の生産は市川三郷ブランドとして知られ、大勢の人で賑わうみはらしの丘・みたまの湯で開催される収穫祭や農業体験、地産地消の試みなど、本町の新たな観光農業、グリーンツーリズムの先進地となっています。



・神明の花火



・和紙づくり



・印章の篆彫



・甘々娘の収穫体験

### ② 古代から伝わる歴史と文化のまち

本町の歴史は古く、縄文・弥生時代の古墳など、貴重な文化財が多数出土しています。

また、山梨県の古代文化発祥の地とされ、近世以降は、富士川舟運、和紙、花火、印章、養蚕などの産業が栄え、地域の中心として発展してきた特色ある歴史性をもっています。

神楽獅子などの伝統神楽、祇園祭や金比羅祭、摩利支天祭など、多くの伝統的な祭が受け継がれており、市川陣屋跡などの史跡をはじめ、市川團十郎にゆかりのある歌舞伎文化公園、書の歴史を伝える大門碑林公園など、本町の歴史と文化を伝える資源が多くみられます。

そのほか、市川地区中央部などには昭和ロマンを感じさせる建造物も往時の名残を留めています。



・表門神社の太々神楽

### ③ 豊かな自然と美しい風景に抱かれたまち

本町は、御坂山系の山々に抱かれ、豊かな森林、河川や湖の水辺など、豊かな自然環境と四季折々の美しい風景に恵まれています。

富士八湖に数えられ、県内有数の景勝地である四尾連湖をはじめ、芦川溪谷、湯桶の釜、千波滝、眺望に優れたハイキングコース（大門碑林公園～四尾連湖、四尾連湖～蛾ヶ岳）、フォッサマグナが育んだ温泉など、自然とのふれあいの場として親しまれています。

また、蛾ヶ岳からの富士山の眺望、高台からは甲府盆地や南アルプス、八ヶ岳などが一望でき、大塚からの夜景など、優れた眺望に恵まれています。



・四尾連湖

## (3) 市川三郷町の概況

### 1) 自然

本町は、御坂山系の山々に抱かれ、豊かな森林、河川や湖の水辺など、自然環境に恵まれており、四尾連湖をはじめ、芦川溪谷、眺望に優れたハイキングコースなど、自然とのふれあいの場として親しまれています。

#### ① 気候

本町は、甲府盆地の南端部に位置しているため気候は比較的温暖ですが、山間部は平坦地に比べると標高差が平均300m～400mあるため、平均気温で2℃～3℃の差があります。

#### ② 地形・水系

本町の地形は、御坂山地から派生する山地と山麓に発達した扇状地崖錐部、河川の氾濫によって形成された沖積平野で構成され、大部分の市街地や集落地は、この沖積平野に形成されています。

河川流域は、笛吹川、富士川水系に属しており、町内を流れる主要な河川としては、芦川をはじめ、新川、印川、山田川、葛籠沢川等が挙げられます。

市川地域の市街地周辺では小さな河川や小水路が縦横に流れ、「水の都」としての特色をもっています。

#### ③ 自然環境

町の面積の約6割は森林で占められ、山、森、湖や河川の水辺など、豊かな自然環境に恵まれています。

代表的なものとして、四尾連湖周辺は、県立自然公園の特別地域（県立四尾連湖自然公園）に指定されており、山上の天然湖として神秘性に富んだ景観とも相まって、観光客やハイカーの拠点、あるいは町民の憩いの場となっています。

そのほか、笛吹川や富士川の水辺、芦川溪谷、湯桶の釜、千波滝、ハイキングコース（大門碑林公園～四尾連湖、四尾連湖～蛾ヶ岳）なども自然とのふれあいの場として親しまれています。

また、芦川沿いにある畑熊のミスミソウは、山梨県自然環境保全条例に基づく自然記念物に、一宮浅間神社のアカマツ林は、樹齢300年を超える貴重な天然林として指定されています。

## 2) 歴史的特色

本町の歴史は古く、山梨県の古代文化発祥の地といわれ、近世以降は、富士川舟運、和紙、花火、印章、養蚕などの産業が栄え、地域の中心として発展してきた歴史を持っています。

### ① まちの成り立ち

#### ■ 古 代

本町の起源は古く、山梨県の古代文化発祥の地といわれており、葛籠沢の石仏遺跡や大木の宮の前遺跡、大塚の北原一帯からは縄文・弥生時代の貴重な文化遺産が多数出土しています。

特に、曾根丘陵付近には大塚古墳やエモン塚古墳、鳥居原狐塚古墳、伊勢塚古墳などの前方後円墳や円墳が集中しています。

平安時代に入ると、市河荘、岩間荘といった荘園が置かれ、大集落が営まれるようになり、甲斐の国から朝廷に紙や紙の原料となる麻を貢進したと文献に記されており、すでに当地を中心に和紙の生産が行われていたことがうかがえます。

#### ■ 中 世

当地は甲斐源氏発祥の地と言われ伝えられており、源義清が館を構えたとされる平塩の岡には旧跡を偲ぶ記念碑が建てられています。また、武田信玄の時代には、現在の蹴裂神社・歌舞伎文化公園の一帯に、信玄の弟にあたる一条信龍の館があったとされています。

また、甚左衛門という人が紙の技術に優れ、市川和紙に改良をもたらしたとされるほか、信玄時代の烽火が当地の花火産業の始まりになったとされています。

#### ■ 近 世

江戸時代に入ると、富士川舟運が運行され、黒沢には鯉沢、青柳とともに河岸がおかれたことから、当地は甲州一円から松本諏訪藩に至る物流の要衝としてかなりの活況をみせたほか、岩間陣屋や市川陣屋が置かれるなど、河内、巨摩・八代郡を支配する行政の中心地でもありました。

武田信玄時代にその庇護のもとに置かれていた市川和紙は、江戸時代にも幕府の御用紙となり、世襲の肌吉衆によって漉き継がれ、諸役御免で名字帯刀を許されるなどの特権を認められていたといわれています。

また、岩間地区への灌漑のため、岩間堰の開削や岩間足袋の起業もこの時代に行われています。

#### ■ 近代・現代

明治初期の甲府の水晶加工技術業の発展に伴い、水晶印の行商から始まった印章彫刻技術は、町の基幹産業に発展しました。また、この時代、一瀬益吉氏によって桑の最良品種である一瀬桑が発見され、以降、奨励品種として全国の養蚕業発展に貢献しました。

### ② 市川三郷町の沿革

明治以降の区政や郡区町村編成法などにより合併が進み、昭和29年から31年にかけてのいわゆる昭和の大合併により、旧三珠町、旧市川大門町、旧六郷町が誕生し、そして、平成17年10月1日、3町の合併により、市川三郷町が誕生しました。



・波場公園と古墳群



・和紙



・平塩の岡



・蹴裂神社



・市川陣屋跡



・印刻

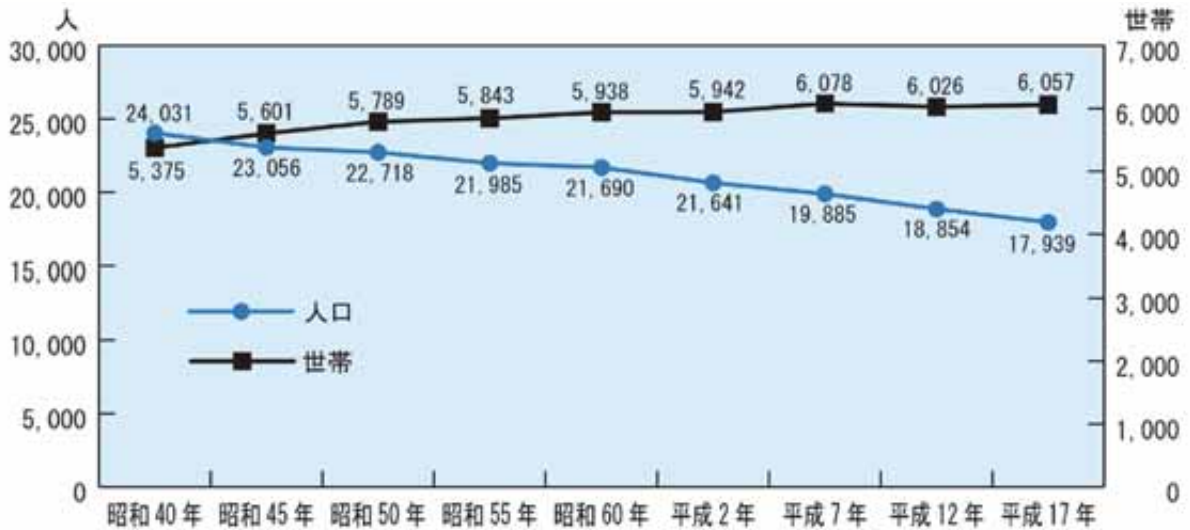
### 3) 人口の動き

本町の人口は減少傾向にあり、特に市川地域、六郷地域で減少が進んでいます。  
 また、本町の人口・また、65歳以上の高齢者の割合は、山梨県の平均と比べて高く、比較的、早いピッチで高齢化が進んでおり、高齢者世帯や一人暮らしの高齢者も増加しています。

#### ① 人口・世帯数

本町の人口・世帯数は、平成21年4月現在、18,405人、6,556世帯で、平成17年10月と比べ少し増加したものの、全体的に減少傾向にあります。\*  
 また、地域別（旧町単位）では、市川地域、六郷地域での人口減少が進んでいます。

#### ■人口・世帯数の推移



(資料：国勢調査)  
 (出典：「市川三郷町第1次総合計画」)

#### ■地域別人口の推移

(昭和40年を100とした場合の各年の人口)

|        | 昭和  |     |     |     |     | 平成 |    |     |     |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|
|        | 40年 | 45年 | 50年 | 55年 | 60年 | 2年 | 7年 | 12年 | 17年 |
| 市川三郷町  | 100 | 96  | 95  | 91  | 90  | 86 | 83 | 78  | 75  |
| 旧三珠町   | 100 | 95  | 92  | 93  | 96  | 93 | 91 | 87  | 88  |
| 旧市川大門町 | 100 | 97  | 96  | 91  | 89  | 84 | 81 | 76  | 72  |
| 旧六郷町   | 100 | 95  | 92  | 91  | 89  | 84 | 81 | 77  | 71  |

(資料：国勢調査)  
 (出典：「市川三郷町第1次総合計画」)

注) \*人口・世帯数等の数値データは、過去の経年変化等を見るために、データの出出を原則として国勢調査のデータに統一しています。

## ② 少子・高齢化の状況

### ■高齢化の状況

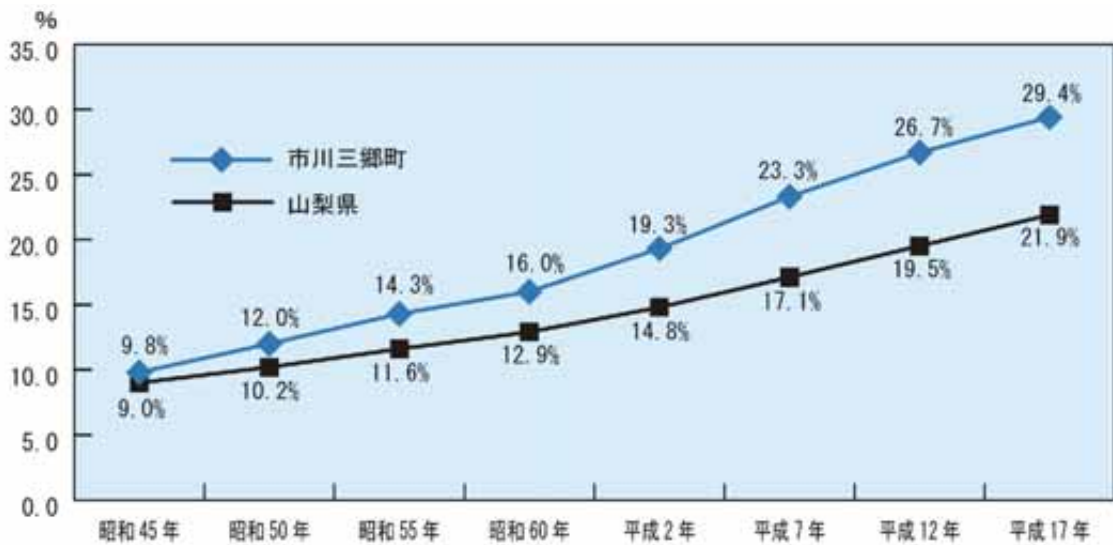
本町の65歳以上の高齢者の割合は、平成17年現在29.4%で、山梨県全体(21.9%)を上回り、早いペースで高齢化が進んでいます。

また、平成17年現在の65歳以上の高齢者世帯数および高齢者単身世帯数は、1,739世帯および599世帯であり、町の総世帯数のそれぞれ約29%および約10%を占めています。

### ■少子化の状況

本町の出生数は、減少し続けており、0～14歳の「年少人口」は、平成17年が2,251人、全人口の12.5%で、昭和60年の4,282人、19.7%と比較して、大幅に減少しています。

### ■高齢化比率の推移



(資料：国勢調査)

### ■高齢者世帯数

(平成17年10月現在)

| 総世帯数    | 高齢者世帯数            | 高齢者単身世帯数     |
|---------|-------------------|--------------|
| 6,053世帯 | 1,739世帯 (28.7%) * | 599世帯 (9.9%) |

注) \* ( ) 内は、総世帯数に対する割合を示す。

### ■65歳以上の高齢者単身世帯数の推移



(資料：国勢調査)

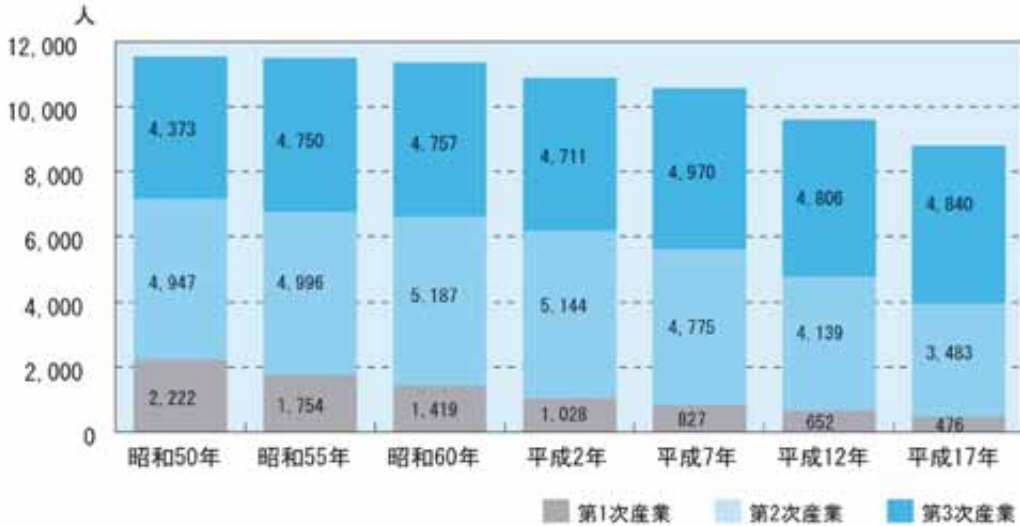
## 4) 産 業

本町の商業、製造業、農業は、全体的に伸び悩んでいます。和紙・花火・印章など全国に誇れる伝統産業が今なお息づいています。

### ① 就業構造

本町の就業人口の構成比は、平成17年現在、第3次産業が全体の55%で最も多く、次いで第2次産業(40%)、第1次産業(5%)となっており、第3次産業が横ばい、第1次・第2次産業が減少傾向にあります。

#### ■産業別就業者人口の推移



(資料：国勢調査)  
(出典：「市川三郷町第1次総合計画」)

### ② 産業の概況

#### ■商 業

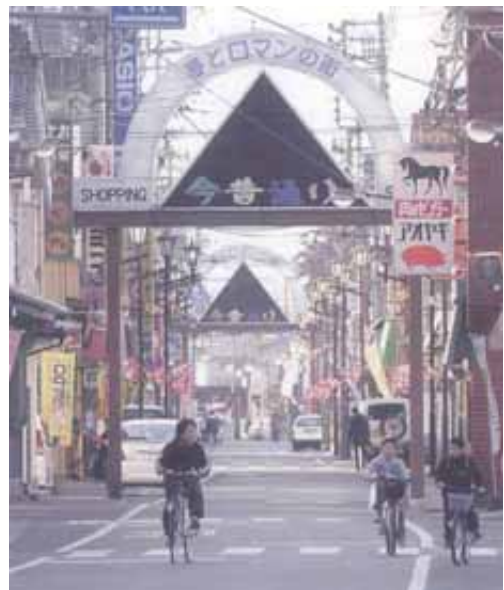
市川地区中央部に中心商店街が形成されていますが、店主の高齢化や後継者不足、駐車スペースの不足、郊外部の大型店の進出や中央市、南アルプス市方面への購買力の流出等により、商店街の停滞、空洞化が進んでいます。

本町の商業は、平成16年商業統計調査によると、商店数265、従業員者数1,191人、年間小売販売額118億円で、商店数、従業者数、年間商品販売額は減少傾向にあります。

#### ■商店数、販売額の推移



(資料：山梨県商業統計調査)  
(出典：「市川三郷町第1次総合計画」)

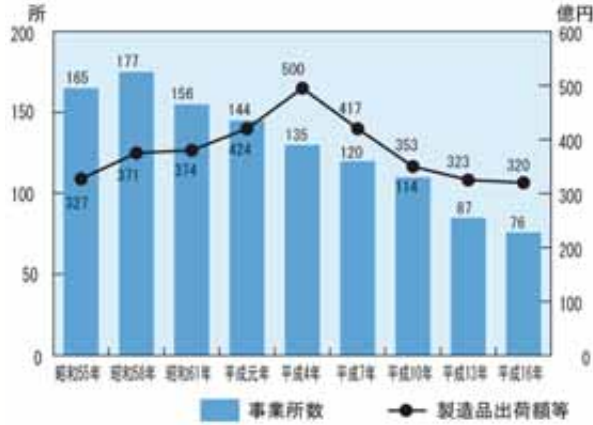


・市川地区中央部の商店街（中央通り）

■製造業

本町には、和紙・花火・印章など全国に誇れる伝統産業があるものの、工場数、従業者数、製造品出荷額は、これまでの推移をみると全体的に減少傾向にあります。

■事業所、出荷額の推移



(資料：山梨県工業統計調査)  
(出典：「市川三郷町第1次総合計画」)



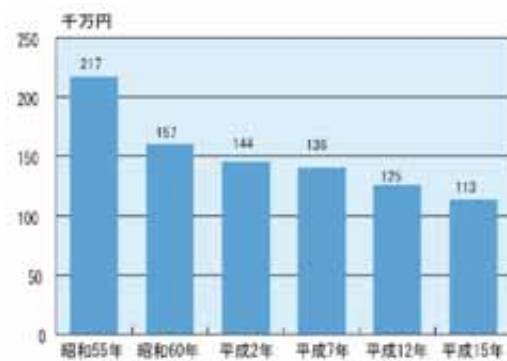
・大塚工業団地

■農業

本町の総農家戸数は1,102戸で、このうち自給的農家戸数は774戸、販売農家戸数が328戸、販売農家のうち専業農家は80戸で、農家全体に占める割合は約7%と比率は低くなっています。

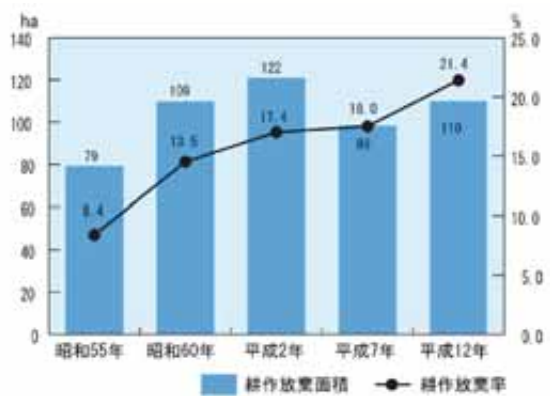
農業就業者の高齢化と後継者不足に伴い、経営耕地面積は減少し耕作放棄地が増加しており、鳥獣害も深刻化しているなど、農業をめぐる現状は厳しい状況となっている。

■農業出荷額の推移



(資料：農林水産省生産農業所得統計)

■耕作放棄地の推移



(資料：農業センサス)  
耕作放棄率 = 耕作放棄面積 ÷ (経営耕地面積 + 耕作放棄面積)  
(出典：「市川三郷町第1次総合計画」)



・三珠地域の水田地帯

## 6) 土地利用

本町の土地利用は、大部分が山林等の自然的な土地利用で占められおり、市街地は市川地域や三珠地域の低地部に形成され、集落や農地は中山間地域に点在しています。

### ① 土地利用の現況

本町の土地利用は、総面積 75.07km<sup>2</sup>のうち、森林が 64.2%を占めており、河川や農地等を含めると約8割が自然的な土地利用となっています。

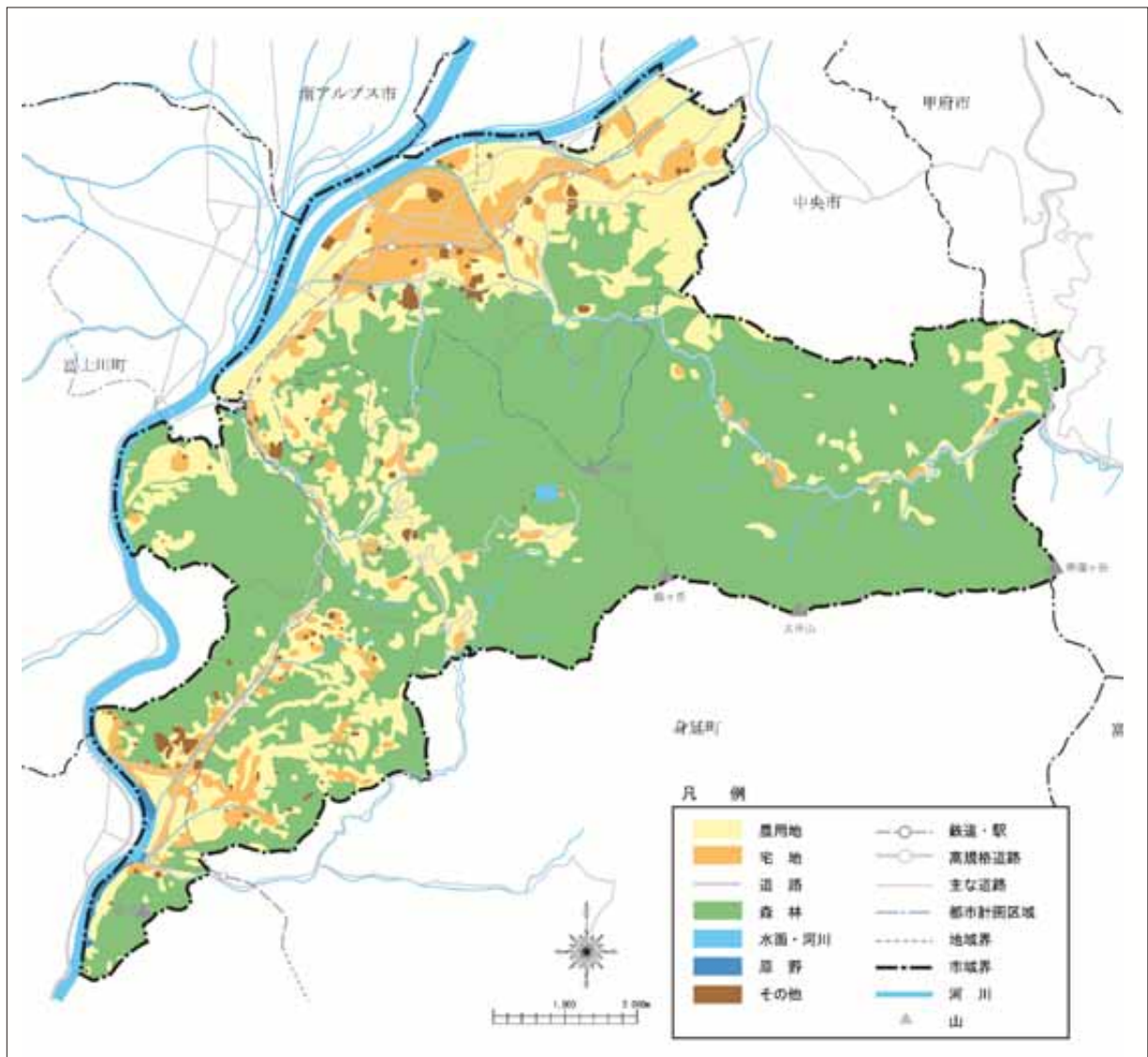
市街地は、市川地域の市川地区、高田地区、黒沢地区、三珠地域の大塚・上野地区、六郷地域の岩間地区に形成されており、市川地域の高田地区周辺では宅地化が進行しています。

集落地は、主要地方道甲府市川三郷線、市川三郷富士川線、市川三郷身延線、笛吹市川三郷線、県道四尾連湖公園線周辺に点在し、農地は、低地部が水田を中心に、中山間地域は果樹や畑地が分布していますが、近年、耕作放棄地も増加しています。

### ② 土地利用規制の状況

本町に関わる土地利用規制としては、県立自然公園区域（県立四尾連湖自然公園：362.0ha）、保安林（391.5ha）、地域計画対象民有林（1,583.0ha）、農業振興地域（3,605ha）、農用地域（582.4ha）、急傾斜地崩壊危険区域、砂防指定地、地すべり防止区域などが指定されています。

#### ■土地利用現況



## 7) 交通体系

本町は、JR 身延線が町を縦断しており、公共交通に恵まれています。道路では、中部横断自動車道（（仮称）六郷 IC）の整備や黒沢バイパスの整備などが予定されており、道路網の充実が図られています。

### ① 道路網

#### ■高規格道路

高規格道路では、中央自動車道甲府南 IC および中部横断自動車道増穂 IC に近接しています。中部横断自動車道は、平成 28 年度に（仮称）六郷 IC まで延伸される予定となっており、今後、高速交通への利便性は大きく向上することが期待されています。

#### ■主な幹線道路

本町の骨格を形成する幹線道路としては、町を縦断する国道 140 号、JR 身延線とほぼ並行して走る主要地方道甲府市川三郷線、市川三郷富士川線、市川三郷身延線の 4 路線のほか、中山間地域を連絡する主要地方道笛吹市川三郷線、県道四尾連湖公園線、山保久那土線、金川曾根広域農道、岩間地区と国道 52 号を結ぶ県道甲斐岩間（停）西島線の 5 路線があり、地域間を連絡しています。

また、主要地方道市川三郷富士川線および市川三郷身延線の交通渋滞の緩和を図るため、大門バイパスが整備され、今後、黒沢バイパスの整備が予定されている他、六郷地域には新たなバイパス整備構想があります。

### ② 鉄道・バス

#### ■鉄 道

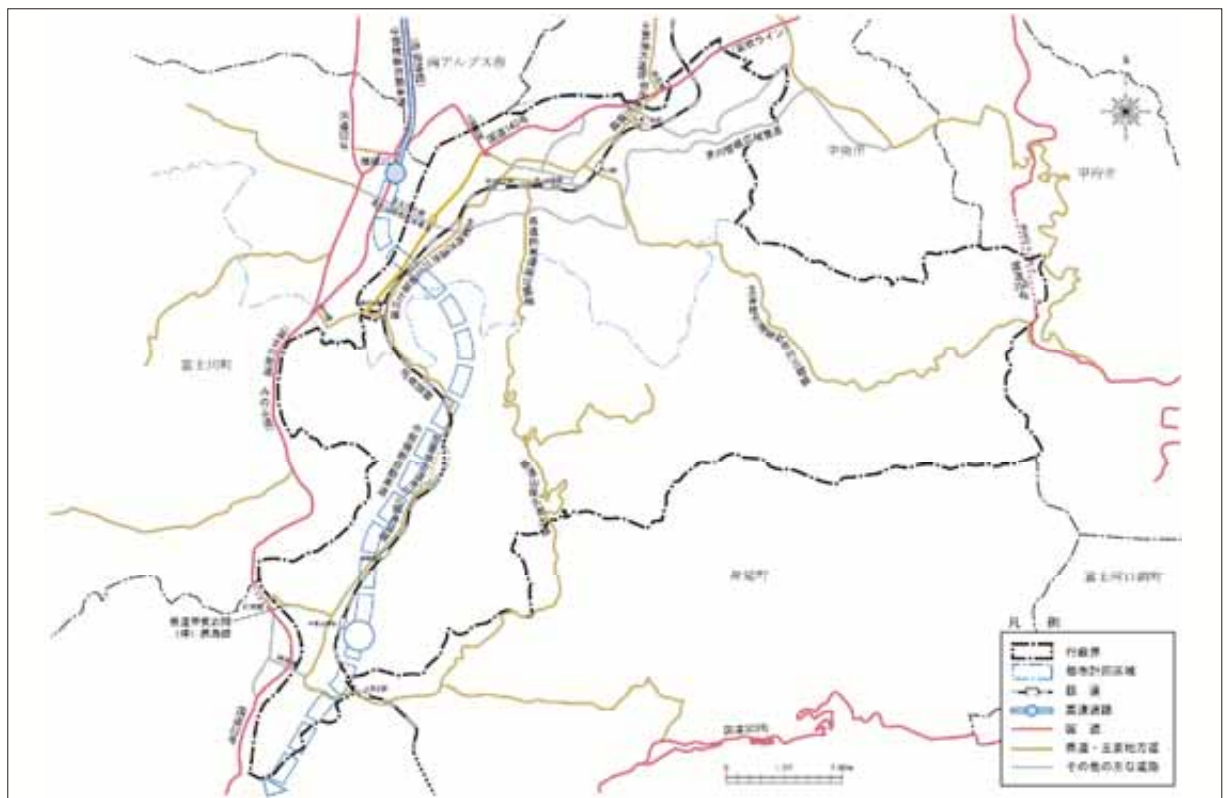
甲府駅と静岡県富士駅を結ぶ JR 身延線が南北に通っており、町内には甲斐上野、芦川、市川本町、市川大門、鰐沢口、落居、甲斐岩間の計 7 駅があり、町民の重要な足となっています。

乗降客数は、市川本町、市川大門、鰐沢口の各駅が多く、本町の中心的な駅となっていますが、JR 身延線の甲府駅発の電車は、ほぼ半数が鰐沢口駅止まりとなっています。

#### ■バ ス

本町では、コミュニティバス等が 5 路線運行しており、地域の重要な足となっています。

#### ■道路交通網の現況



## 8) 基盤施設の整備状況

本町の道路、公園、上下水道、ごみ処理施設などの都市基盤施設については、着々と整備が進められています。

### ① 道路

本町の都市計画道路は、市川地域および三珠地域の市街地を中心に計 11 路線が指定されており、平成 20 年 3 月現在、24.8%の整備率（改良済み）となっています。

未整備路線のうち、（都）役場前線南進道路や籠鼻川浦線の中央市への延伸については、今後の整備のあり方を含めて検討が進められています。

また、都市計画道路ではありませんが、主要地方道市川三郷富士川線および市川三郷身延線の交通渋滞の緩和を図るため、黒沢バイパスの整備が進められているほか、（仮称）六郷 IC の開設にあわせ、アクセス道路の検討も進められています。

#### ■都市計画道路の整備状況

（平成 20 年 3 月 31 日現在）

| 路線数 | 整備状況   |       |       | 整備率  | 用途地域内延長 |       |
|-----|--------|-------|-------|------|---------|-------|
|     | 計画延長   | 改良済み  | 概成済み  |      | 計画      | 改良    |
| 11  | 13,780 | 3,420 | 5,290 | 24.8 | 9,930   | 2,740 |

（資料：町建設課資料）

### ② 公園

本町の都市計画公園は、市川公園をはじめ、3カ所（約 7.2ha）が計画決定され、平成 20 年 3 月現在、全て整備済みとなっていますが、全体的に街区公園などの身近な公園や町の顔となる都市基幹公園が不足している状況です。

#### ■都市公園の整備状況

（平成 20 年 3 月 31 日現在）

| 種別      | 名称    | 区分   | 計画決定(ha) | 開設(ha) |
|---------|-------|------|----------|--------|
| 都市計画公園  | 富士見公園 | 街区公園 | 0.59     | 0.59   |
|         | 新町公園  | 街区公園 | 0.12     | 0.12   |
|         | 市川公園  | 地区公園 | 6.50     | 6.50   |
|         | 小計    |      | 7.21     | 7.21   |
| その他都市公園 | なし    | —    | 0.00     | 0.00   |
| 合計      |       |      | 7.21     | 7.21   |

（資料：町建設課資料）

### ③ 下水道

本町の下水道は、公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽により整備を行っています。

公共下水道は、流域関連公共下水道事業及び特定環境公共下水道事業により整備を進め、平成 20 年度末現在、整備率は 75%となっています。

また、流域関連公共下水道事業においては、平成 19 年度に認可区域を 518ha に拡大し平成 32 年度を目標年次とし整備を行っています。

公共下水道以外の地域については、農業集落排水事業、合併処理浄化槽の普及促進により整備を進めています。

### ④ 上水道

本町の生活用水は、市川地域が町の上水道事業及び簡易水道により、三珠地域、六郷地域については、簡易水道により供給されています。

### ⑤ ごみ

本町の可燃ごみ、不燃ごみ等の処理は、市川地域と三珠地域が「中巨摩地域広域事務清掃センター」で処理され、六郷地域については、峡南衛生組合により処理されています。

## 9) 都市計画の指定状況

本町は、市川大門都市計画区域を擁しており、市川地域に用途地域が指定されています。  
このほか、都市施設としては、都市計画道路 11 路線、都市計画公園 3 カ所が計画決定されています。

### ① 都市計画区域

都市計画法に基づく都市計画区域（市川大門都市計画区域）は、市川地域、三珠地域の市街地周辺および鯉沢町の一部を含む面積 2,234ha（本町分 2,189ha）の区域が指定されています。

### ② 用途地域

用途地域は、市川地域に都市計画区域の約 10%にあたる面積約 225ha の区域が指定されています。

#### ■用途地域の指定状況

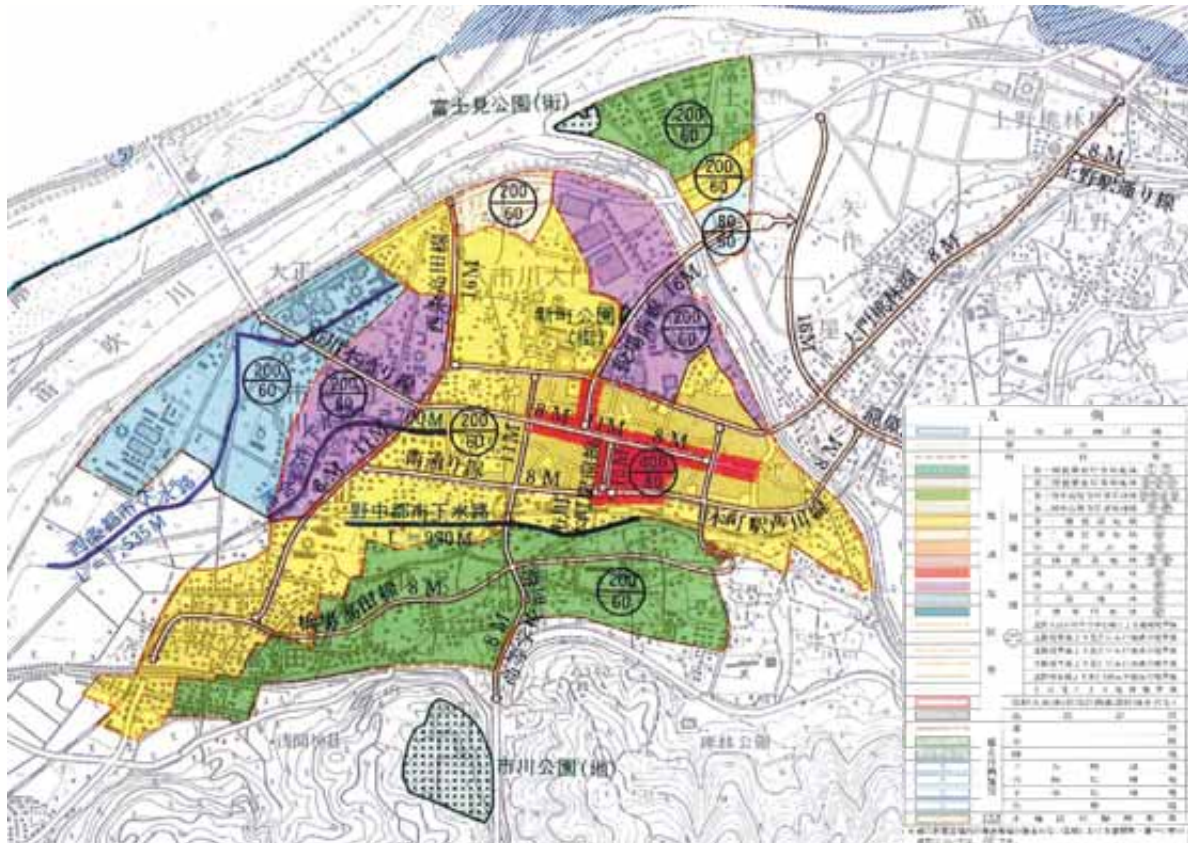
| 区分           | 面積(ha) | 比率 (%) | (容積率/建ぺい率) |
|--------------|--------|--------|------------|
| 第二種低層住居専用地域  | 3.2    | 1.4    | (80/50)    |
| 第一種中高層住居専用地域 | 59     | 26.3   | (200/60)   |
| 第一種住居地域      | 88     | 39.2   | (200/60)   |
| 第二種住居地域      | 4.8    | 2.1    | (200/60)   |
| 商業地域         | 6.8    | 3.0    | (400/80)   |
| 準工業地域        | 37     | 16.4   | (200/60)   |
| 工業地域         | 26     | 11.6   | (200/60)   |
| 合計           | 224.8  | 100.0  |            |

(資料：「都市計画基礎調査」)

### ③ 都市施設

都市計画法に定める都市施設としては、都市計画道路 11 路線、都市計画公園 3 カ所が計画決定されています。

#### ■用途地域の指定状況



## 2 まちづくりの課題

### (1) 市川三郷町をとりまく社会動向

市川三郷町をとりまく社会経済環境は大きく変化しつつあります。時代の変化に柔軟に対応したまちづくりを進めるために、次のような社会動向に留意していくことが必要です。

#### ① 本格的な少子・高齢化社会の到来

我が国では、少子高齢化が進行し、本格的な人口減少社会に突入しつつあります。

本町においても、比較的早いピッチで少子高齢化が進行しており、人口も将来的に減少していくことが予想されています。

このため、本格的な少子高齢化社会の到来に備え、地域全体で子どもを安心して生み育てることができる環境づくりや、高齢者が元気で暮らせる環境づくりが求められています。

#### ② 地方分権の推進に伴い高まる地域社会の役割

地方分権は、住民に身近な行政の権限や財源をできる限り地方自治体に移し、地域の創意工夫による行政運営を推進できるようにするための取り組みです。

多様な行政サービスの提供や様々な施設の維持管理などにより支出がふくらむ一方で、社会経済状況などから税収が大きくのびることは考えにくくなっています。

合併により誕生した本町では、限られた財源の中で暮らしやすさを高めるため、効率的な都市経営を進めるとともに、町民自らが役割分担をするなど、地域社会の役割が重要となります。

#### ③ 社会経済状況の変化と住民意識の多様化

##### ■社会経済状況の変化（国際化、情報化、循環型社会の進展）

国際化の動きは、経済のみならず、住民レベルの交流など、様々な分野で進展しています。

また、インターネットに代表されるように情報通信技術の飛躍的な進歩は、今日、社会のあらゆる分野に大きな変革をもたらしています。

さらに、環境問題への関心の高まりの中、地球規模で循環型社会の実現に向けた取り組みが求められています。

国際化社会、高度情報社会、循環型社会への進展に伴い、産業構造や住民の暮らし方や働き方も大きく変化していくことが予想され、こうした社会に対応する取り組みが必要となります。

##### ■住民意識やライフスタイルの多様化

私たちをとりまく社会状況の変化とともに、住民の価値観や意識、ライフスタイルの多様化が進んでいます。

今後は、暮らし方や働き方、遊び方など、多様な住民ニーズに的確に応えるまちづくりが求められています。

## (2) まちづくりに対する住民意向

### 1) まちづくり住民会議

「市川三郷町都市計画マスタープラン」の策定にあたって開催した「まちづくり住民会議」では、様々な住民の意見が出されました。

計5回の会議を積み重ね、最終的に「地域まちづくりプラン」を町長に提案しています。

※まちづくり住民会議の概要については、巻末の資料編を参照

### 2) 都市計画マスタープランアンケート調査

都市計画マスタープランの策定に向けて、平成20年1月に、市川三郷町全域を対象としたアンケート調査を実施しました。調査結果の概要は次のとおりとなっています。

#### <アンケート調査の概要>

- 調査対象：市川三郷町全域、地域住民無作為抽出1,500人（票）
- 調査期間：平成20年1月10日～1月24日
- 回収数、回収率：583票（有効回収数）、38.9%

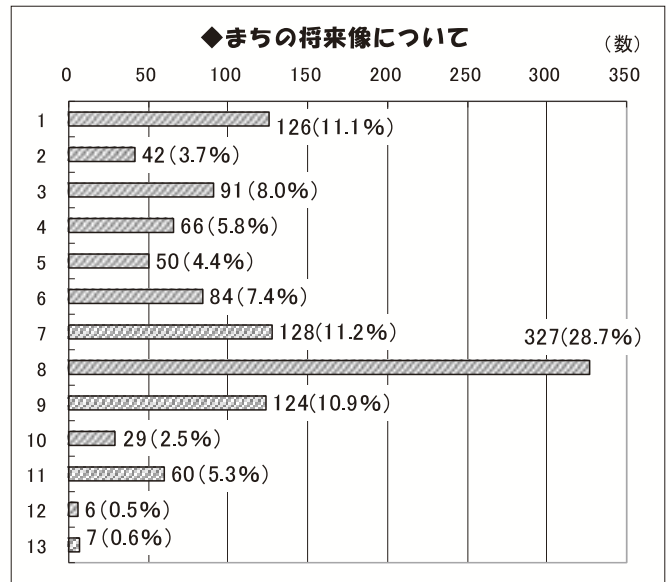
#### <調査結果の概要>

##### ■まちの将来像

まちの将来像については、「子ども達や高齢者など誰もが安心して健康に暮らせるまち」が約29%と突出し、誰もが安全・安心に暮らし、自然環境と調和しながらも生活基盤の整った利便性の高い暮らしやすいまちを望む傾向が伺えます。

##### ■まちの将来像

1. 豊かな自然環境を守り自然と調和し共生するまち
2. 山々の眺望やまちなみの保全など独自の景観や個性をいかしたまち
3. ふるさとの歴史や伝統文化を大切に守りいかすまち
4. 地域資源を活用し多くの人々が行き交い賑わいを生む観光の盛んなまち
5. 既存の伝統産業や農林水産業が振興されるまち
6. 既存商店街など商業や産業の発展する活気あるまち
7. 道路や公園などの生活基盤施設が整った利便性が高い暮らしやすいまち
8. 子ども達や高齢者など誰もが安心して健康に暮らせるまち
9. 災害や犯罪などの対策が充実した安全・安心に暮らせるまち
10. レジャーやレクリエーション施設、イベントなどが充実した楽しいまち
11. 地域のコミュニティ活動やまちづくりへの住民参画が活発で住民の自治意識が高いまち
12. その他
13. 不明

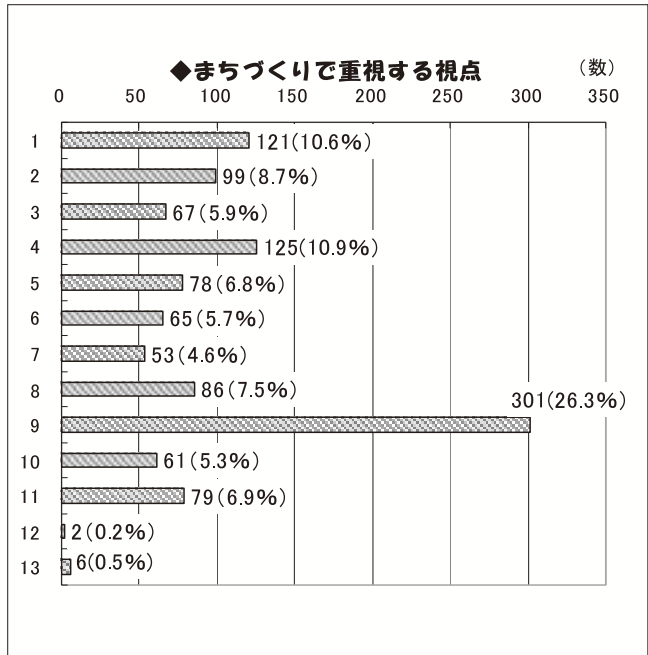


■まちづくりで重視する視点

まちづくりで重視する視点は、「子ども達や高齢者など誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進する」が約26%と突出し、将来像と同様、誰もが安心して暮らせる福祉のまちや、交通環境の利便性向上、まちの活力の向上を重視する意向が伺えます。

■まちづくりで重視する視点

1. 観光開発や企業誘致など、まちの発展に力を注ぎ活力を高める
2. 農林業や商工業、伝統産業など産業の振興で定住化を促進しまちの活力を高める
3. 森林や農地などの無秩序な開発を抑制し、計画的な調和のとれた土地の使い方を進めていく
4. 幹線道路や身近な生活道路の改善・整備、公共交通の充実など、交通環境の利便性を高める
5. 公園や上・下水道、公共施設整備など、身近な生活基盤を充実する
6. 恵まれた自然環境や河川・湖沼などの水辺、豊かな山林などを守り育てる
7. 山々の眺望や自然・里山景観など、ふるさとの美しい風景を守り育てる
8. 循環型社会の形成に向けた取り組みなど、環境に配慮したまちづくりを推進する
9. 子ども達や高齢者など誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進する
10. 水害や地滑りなど、災害に強い安全なまちづくりを推進する
11. 中山間地域など各地域の特性を踏まえバランスのとれた地域格差のないまちづくりを推進する
12. その他
13. 不明



■優先すべき個々のまちづくり施策

個々の分野で具体的には以下のような施策を優先すべきとしています。

- まちの発展・活性化について  
定住促進のための新たな産業おこしや優良企業の誘致などを第一とし、地産地消や特産品づくり、まちの玄関口や中心市街地の活性化などを優先する
- 調和のとれた土地の使い方について  
耕作放棄地や空き家・空き地対策とあわせ、定住促進のための宅地開発の整備・誘導や、地域の生活拠点や駅周辺、市街地の環境改善や都市機能の充実などを優先する
- 道路・交通対策について  
生活道路の改善整備や公共交通機関の充実、街路灯・防犯灯の充実など、身近な道路・交通環境整備などを優先する
- 公共施設や公園などの生活基盤について  
文化施設やスポーツ施設、身近な公園・広場の整備など、身近な利便性の高い施設整備や、定住促進のための計画的な宅地開発、公営住宅の整備・供給などを優先する
- 観光による振興について  
体験学習や交流、レクリエーション施設整備などの推進よりも、町固有のまちなみ景観整備や伝統産業の活用、祭り・イベントの充実とPR推進などを優先する
- 豊かな自然や緑について  
河川・湖沼の水辺環境や優れた自然環境の保全、また、有害鳥獣対策推進とともに貴重な生態系の保全などを優先する
- ふるさとの景観づくりについて  
水辺景観の保全と地域と調和した景観まちなみ誘導、景勝地や景観形成活動の推進とPRの充実などを優先する
- 環境に配慮したまちづくりについて  
リサイクル促進など地域からの地球環境対策の推進や、ごみの減量、分別回収、不法投棄防止といったごみ対策などを優先する
- 福祉のまちづくりについて  
医療機関や医療体制の充実を第一に、高齢者福祉施設や少子化対策の充実などを優先する
- 防災・防犯について  
意識啓発や住民が主体となった防災体制推進よりも、福祉施策意向とあわせ救急医療体制の整備をはじめ、災害時の避難所や備蓄倉庫の整備、緊急情報システムの充実などを優先する

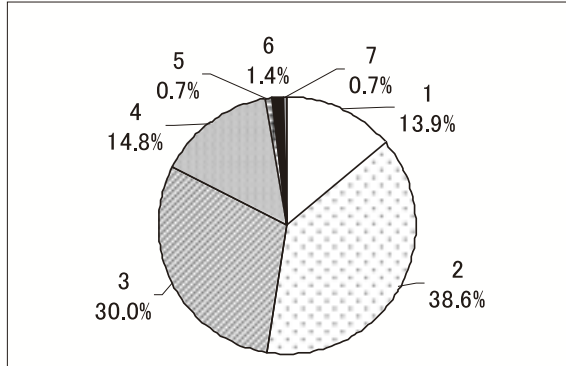
■参加のまちづくり

＜まちづくりへの参加意向について＞

まちづくりへの参加意向については、内容によっては参加するが約39%と高く、何らかの参加意向は8割強と高い傾向を示しています。

■まちづくりへの参加意向

1. 積極的に参加したい
2. 内容によっては参加する
3. 地域の集まりやまちなどで求められれば参加する
4. 参加はできないが何らかの協力はしたい
5. 参加も協力もしたいと思わない
6. その他
7. 不明

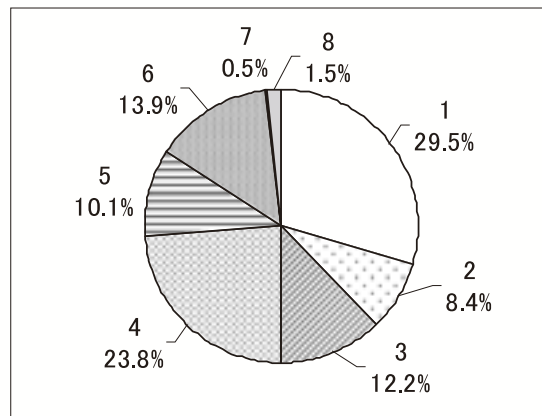


＜行政の取り組み体制について＞

まちづくりにあたっての行政の取り組み体制は、情報公開やPRの充実と住民意向の反映とともに、住民の自主的活動の支援やまちづくり説明会などの機会・場を充実するなどを望んでいます。

■行政の取り組み体制

1. まちの広報やお知らせなどで、まちづくりに関する情報公開やPRを充実する
2. まちづくりに関する意見や相談を聞く窓口を充実する
3. まちづくりの説明会や勉強会を開くなどの機会を充実する
4. アンケート結果などの住民意向を公開し充分反映する
5. 町民参加によるまちづくりを支える条例や制度などの仕組みを整える
6. 地域の自主的なまちづくり活動を積極的に支援する
7. その他
8. 不明

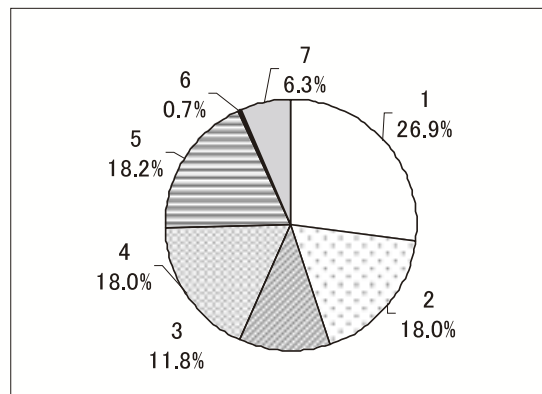


＜協働のまちづくりについて＞

意見交換の場づくりやまちづくりに関するルール・制度づくり、小単位からのまちづくり組織の充実や活動への支援・助成の仕組みづくりなどを望む傾向が高くなっています。

■協働のまちづくり

1. 「まちづくり会議」など行政や住民等が意見を交換する場をつくる
2. 協議会など地域・地域単位のまちづくり組織を充実する
3. 多様なまちづくり活動を助言・支援する「まちづくりセンター」的な組織をつくる
4. 地域の自発的なまちづくり活動を支援・助成する仕組みをつくる
5. 町民と行政等が協力して町独自の条例や要綱などのルールや制度をつくる
6. その他
7. 不明



## ■主な自由意見

自由意見は多岐にわたっていますが、主な意見について整理すると以下の通りです。

### ■主な自由意見

#### ①観光活性化について

最も意見・提案が多く、定住促進や雇用の確保など人口増による活性化、特産品や既存施設の活用などによる活性化、まちのPR推進、また、生活環境整備による活性化の意向などが伺える。

#### ②土地利用について

新たな宅地の整備や、耕作放棄地・遊休農地等の改善と活用、企業誘致などの意向が伺えます。

#### ③道路・交通について

身近な生活道路や歩道の改善・整備への意向が多く、また、公共交通の充実、地域をアクセスする道路やバイパス等の幹線道路の整備、駅前整備、交通施設整備などの意向が伺えます。

#### ④生活基盤・施設整備について

町立病院の充実・改善への意向が多く、また、身近な公園や施設、利便性の高い施設整備など身近な生活環境の改善・整備、上水道・下水道に関連する意向などが伺えます。

#### ⑤自然・緑について

自然環境や里山の保全、水辺の保全と活用などの意向が伺えます。

#### ⑥環境について

環境に対する住民意識の向上やルール・マナーに関連する意向などが多くなっています。

#### ⑦景観について

修景に配慮した公園整備や視点場の利便性向上、歴史的建築物の保存、電線地中化などの意向が伺えます。

#### ⑧福祉・教育について

高齢者対応の施策とともに子育てに関連する意向が多く、また、福祉関連施設や医療施設の充実、教育環境への意向などが伺えます。

#### ⑨防災・防犯について

緊急時に対応した道路の改善整備や、災害対策の充実と住民意識の向上、街灯整備や公園など防犯対策への意向などが伺えます。

#### ⑩住民参加・協働体制について

住民意向の反映や協働まちづくりの組織や場づくり、住民意識の向上や情報公開の徹底、意向聞き取りなどの意見・提案などが伺えます。

### (3) まちづくりに向けた主要課題

市川三郷町の特性、社会的動向、町民意向などを踏まえると、今後のまちづくりに向けて、大きく次の7つの課題が挙げられます。

#### ① 豊かな自然環境と、景観、伝統的な歴史文化を守り、まちづくりに活用を図ること

本町は、御坂山系の山々に抱かれ、四尾連湖や芦川溪谷をはじめ、森林、河川や湖の水辺など、豊かな自然環境と四季折々の美しい風景に恵まれています。

また、山梨県の古代文化発祥の地とされ、縄文・弥生時代の古墳などが多く出土し、近世以降は、富士川舟運、和紙、花火、印章、養蚕などの伝統産業が栄え、地域の中心として発展してきた特色ある歴史性をもっています。

こうした自然、景観、歴史遺産は、町民のふるさと意識、町への愛着を高める重要な要素であり、多くの人々を惹きつける貴重な観光資源でもあります。

これらの特色ある地域資源については、その価値を再認識し、今後とも積極的に維持・保全を図るとともに、観光の振興、地域の活性化など、まちづくりに効果的に活用していくことが求められています。

#### ② 町全体の活力と魅力の向上、定住の促進を図ること

本町は、和紙、花火、印章などの伝統的な地場産業をはじめ、商工業、農業などの地域産業を育み、歴史的に西八代地域の政治・経済の中心として発展してきましたが、近年は、人口の減少や若年層の流出が進みつつあり、地域産業も停滞しています。

本町が今後とも活気ある都市として発展していくためには、人が住んでみたい、訪れてみたいと思うような町の魅力を高めていくことが必要です。

このため、本町の顔となる中心市街地や地域の生活の拠点となっているところ、観光レクリエーションの場などの潜在的な魅力を引き出し、魅力づくりや活力の向上を図るとともに、伝統的な地場産業の育成、観光、商業、工業、農業などの地域産業の振興、生活環境の一層の充実など、町全体の活力と魅力の向上を図っていくことが求められています。

#### ③ 新しい動きと地域の特性に応じた計画的な土地利用を進めていくこと

本町の土地利用は、大部分を森林に囲まれ、市川地区中央部を核とした市街地、郊外に形成された住宅地、それをとりまいている農業集落地といったコンパクトで、緑豊かな田園都市が形成されています。

しかしながら、中心市街地や地域産業の活力の低下、空き地・空き家や耕作放棄地の増加、市川地域の国道140号周辺のスプロールの進行、中山間地域の過疎化の進行、森林の荒廃などの土地利用上の問題が顕在化しています。

今後、中部横断自動車道（(仮称)六郷IC）の整備に伴い、地域ポテンシャルの向上が期待されますが、町の大きな特徴である豊かな自然環境や農村と都市が共生し、良好な環境を維持・向上するため、町の新しい動きや地域の特性に応じた計画的な土地利用を進めていくことが求められています。

#### ④ 本町の骨格を支える道路交通体系の強化を図ること

本町は、JR 身延線が町を縦貫しており、公共交通に恵まれています。

道路では、中央自動車道甲府南 IC および中部横断自動車道増穂 IC に近接しており、高速交通へのアクセスに恵まれ、国道 140 号、主要地方道甲府市川三郷線、市川三郷富士川線、市川三郷身延線等の幹線道路網が町の骨格を形成しています。

今後、中部横断自動車道（(仮称) 六郷 IC）の整備が予定され、隣接する中央市では新山梨環状道路南部区間が整備されるなど、高速交通の利便性は大きく向上することが期待されています。

交通利便性と交通環境の向上、3 地域間や周辺都市との連携強化、まちの活力の向上を図るため、中部横断自動車道（(仮称) 六郷 IC）の建設促進と体系的な幹線道路ネットワークの強化を図るとともに、JR 身延線主要駅の交通結節機能の強化、JR 身延線鯉沢口駅以南の運行強化、コミュニティバスの充実など公共交通の充実、交通安全対策など、交通環境の改善を図ることが求められています。

#### ⑤ 暮らしやすさの向上と身近な生活環境の充実を図ること

町民の「暮らしやすさ」に関する関心は高く、アンケート調査や「まちづくり住民会議」から、様々な要望や意見が出されています。

木造密集住宅地における狭あい道路などの生活道路の改善、公園、下水道の整備、医療機関の充実（緊急医療、産婦人科、小児科など）、通学路の安全対策、水害や崖崩れ、地震・火災等の災害安全対策の充実、本格的な少子高齢化社会に対応したまちづくり、多様化する町民の価値観やライフスタイルを受け止めた都市サービスの充実など、町民が安全・安心して暮らしていける生活環境の充実が求められています。

#### ⑥ 社会環境の変化に対応したまちづくりを進めること

インターネットに代表されるように情報通信技術の飛躍的な進歩は、公共サービス、学校教育、産業、交流文化など、まちづくり分野でも大きな変革をもたらしています。

また、地球規模での環境問題への関心が高まるなか、県内でも多くの自治体のごみの減量化や資源リサイクル、自然エネルギーの活用など、循環型社会の実現に向けた取り組みが進められています。

高度情報社会、循環型社会への進展に伴い、産業構造や町民の暮らし方、働き方も大きく変化していくことが予想され、こうした社会に対応する取り組みが求められています。

#### ⑦ 住民参加・協働のまちづくりを推進していくこと

地方分権化が進むとともに、地方自治体の役割、とりわけ、住民自らが役割分担をするなど、地域社会の役割が重要となります。

本町でも、地域の自治会、ボランティア、NPO などの住民活動が増えてきており、市川地区中央部では住民参加によるまちづくりが進められています。

社会や都市が成熟化していくなかで、住民や企業、行政などがともに考え、ともに行動する協働のまちづくりを進めていくことが求められています。